

登録コード	E8662400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究					担当教員	大島 賢一
英文授業名	Graduation Study					副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年生
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					自身の研究を通して、美術教育が果たす役割について、理解する。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					自身の研究を通して、美術教育実践に関わる知識、技能を獲得する。	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	ゼミ形式によって、各自の研究課題にそった研究経過発表、討議を繰り返し、最終的に研究成果を卒業論文として執筆する。						
(5)授業計画	履修者と相談の上、週一回程度のゼミを行う。 その他、必要に応じて適宜指導を行う。 ゼミでの発表、ディスカッションを通して卒業論文の執筆を行う。 授業終了時 授業アンケートを行う。						
(6)成績評価の方法	卒業論文(100%) ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	卒論の内容について、(i)問題の設定が適切であり,(ii)その問題の背景を説明できており,(iii)その問題にどのような課題があるのかを指摘できており,(iv)それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており,(v)その上で自分の見解を提示できており,かつ,教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i)から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	適宜各自の問題意識により、課題追求を行う。授業での発表に際し、プレゼンテーションの用意を行う。						
(9)履修上の注意	ゼミへの積極的参加は必須であり、個別指導のみで論文を執筆するということは原則として認めない。また、発表会、展覧会等、コースによって定められた活動へ参加することが求められる。						
(10)質問,相談への対応及び連絡先	研究室電話番号026-238-4141 メールアドレスoshima@shinshu-u.ac.jp 適宜対応する。						
【教科書】	特になし。						
【参考文献】	適宜指示する。						